

## お宝発見！ ～渡辺家資料、故郷なかつに里帰り～

明治時代に三重県に移住した中津藩国学者の資料が約 120 年ぶりに里帰りしました。

### (1) 概要

資料点数：約 4500 点

(古典籍：約 2000 冊、絵画・書：約 300 点、書簡

等歴史資料：2000 点以上)

内容：本居宣長もとおりりながや賀茂真淵かもまぶち、徳川光圀とくがわみつくに、松平定信まつだいらさだのぶ、  
田能村竹田たのむらちくでん、倉成龍渚くらなりりゅうしほらの書、谷文晁たにぶんちようや  
大西圭齋おおにしけいさいの絵画、増田宋太郎ますだそうたろう関係資料、貴重な  
書簡・古典籍など。



### (2) 渡辺家とは

渡辺家は八幡古表神社はちまんこひょうじんじやの神官の家系で、第 34 世・渡辺重名わたなべしげなは荒木田久老あらかだひさおゆ・本居宣長らに  
師事し中津藩主奥平家への教授など、国学者こくがくしやとして活躍した人物です。重名の孫である  
重春しげはる・重石丸いかりまるも国学者として、幕末維新时期に中津藩士の教育を行いました。

### (3) 調査経緯

令和元年、渡辺家御子孫が慶應義塾福澤研究センター准教授都倉武之氏とくらたけゆきに資料保存に関する  
相談をされた。都倉氏から中津市に紹介があり、渡辺家旧宅のある三重県で都倉准教授と  
市職員による 2 回の資料調査を行った。令和 2 年 3 月に三重県から中津市へ資料群を移管し、  
令和 2 年度より慶應義塾の協力のもと目録作成を中心に資料整理を行っている。

### (4) 資料内容

今回の資料からは、重名が本居宣長と交わした書簡や、本居宣長が重名の著作を添削した  
草稿、当時の文化人が多数書きあった寄合書、重名が本居宣長よりあいがきと行った問答を起こした未発見の  
著作など貴重な資料が多数発見されました。渡辺重名という人物は知られていたものの、  
渡辺家資料が所在不明であったことから、国学史上の評価は必ずしも高いものではなく、研  
究が進んでいませんでした。今回の発見は国学史においても大きな意義があります。

また、重春やその子重兄しげえが著した地方史『豊前志』ぶぜんしや奥平家よが詠んだ和歌など中津に関する  
資料もたくさん出てきています。中津藩の国学についてはこれまで蘭学や儒学と比べて重  
要視されていませんでした。しかし、渡辺家資料から重名と奥平家や中津藩学者が密接な関  
りを持っていたことが明らかになり、藩政や中津藩の学問、維新时期の動向においても非常に  
価値の高い資料群といえます。

### (5) 今後の方針

今後は慶應義塾<sup>しどうぶんこ</sup>斯道文庫など、研究機関の指導を受けながら資料整理と調査を進め、将来的には目録や画像の公開を目指します。

### (6) 展示公開について

新収蔵資料展「渡辺家～中津藩国学の系譜～」

会期：令和3年4月27日（火）～6月20日（日）

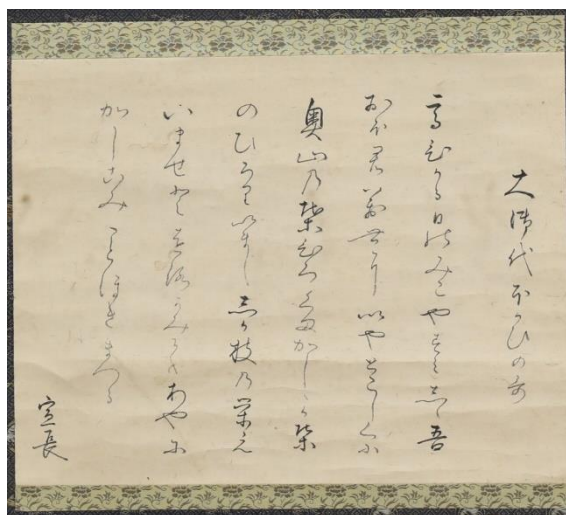
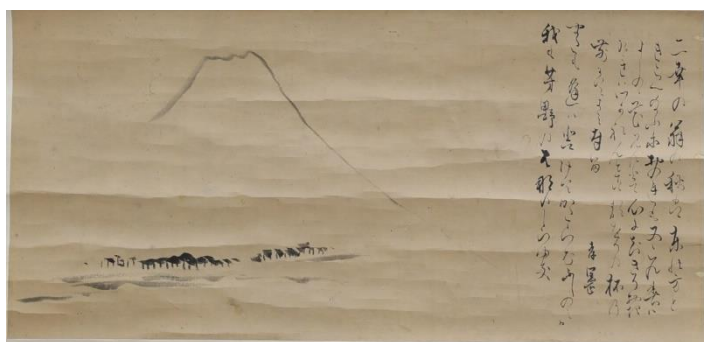
主催：中津市歴史博物館、新中津市学校

イベント：5月1日（土） 13時～学芸員によるギャラリートーク

5月15日（土） 13時～慶應義塾<sup>いちのへわたる</sup>斯道文庫一戸渉准教授による展示解説

6月6日（日） 13時～学芸員によるギャラリートーク

渡辺家資料より、重名・重春肖像、本居宣長・松平定信和歌、文人寄合書（谷文晁など）重名が伊勢に遊学した際の日記、<sup>おがさわらながたねほうしよ</sup>小笠原長胤奉書、増田宋太郎直筆写本などを出陳します。



問い合わせ先  
中津市歴史博物館  
電話 0979-23-8615